

三島由紀夫

未発表書簡

ドナルド・キーン氏宛の97通

三島由紀夫

# 三島由紀夫 未発表書簡

ドナルド・キーン氏宛の97通

みしまゆきおみはつびようしょかん  
島由紀夫未発表書簡  
ドナルド・キーン氏宛の97通

一九九八年五月二五日初版發行  
一九九八年六月二五日三版發行

著者 三島由紀夫

発行者 笠松 嶽

発行所 中央公論社

東京都中央区京橋

一八一七

電話

販売部(03)3563-1431

編集部(03)3563-1464

振替

〇〇1110-四三四四

郵便番号

104-83110

印 刷 三晃印刷

カバ一 大熊整美堂

製 本 小泉製本

©1998 Yukio Mishima/CHUOKORON-SHA, Inc.

Printed in Japan ISBN4-12-002799-6 C0091

定価はカバーに表示しております。

落丁本・乱丁本はお手数ですが小社販売部宛お送り下さい。送料小社負担にてお取り替えいたします。

三島由紀夫未発表書簡

ドナルド・キーン氏宛の97通



目 次

昭和三十一年（一九五六年）	5
昭和三十二年（一九五七年）	15
昭和三十三年（一九五八年）	35
昭和三十四年（一九五九年）	49
昭和三十五年（一九六〇年）	64
昭和三十六年（一九六一年）	73
昭和三十七年（一九六二年）	92
昭和三十八年（一九六三年）	109
昭和三十九年（一九六四年）	122

昭和四十年（一九六五年）	：	：	：	：	：
昭和四十一年（一九六六年）	：	：	：	：	：
昭和四十二年（一九六七年）	：	：	：	：	：
昭和四十三年（一九六八年）	：	：	：	：	：
昭和四十四年（一九六九年）	：	：	：	：	：
昭和四十五年（一九七〇年）	：	：	：	：	：
198	193	182	177	161	142

編集部後記

昭和三十一年（一九五六年）

昭和31年（1956年）

1

（正月？） グリーティング・カード

「班女」の御翻訳完成の由、ありがとうございました。  
お元氣で、よい御年をお迎へ下さい。

三島由紀夫

2

六月二十五日、封書、三枚

京都市東山区今熊野南日吉町  
奥村様方 ドナルド・キー様  
東京都目黒区緑ヶ丘111111  
三島由紀夫（消印・31. 6. 26）

先日は久々でお目にかかるて大へんなかしくうれしく存じました。又、御懇切なるお手  
紙をありがとうございました。

さて、拙著「近代能楽集」につき、身に余る賛辞を頂いた上、御譯し下さるといふお話で、貴下に訳していただけるなら、願つてもないことです。大事な御研究の御邪魔にならぬやう、お暇な折にお訳し下さつたら、望外の喜びです。小生の語学力は甚だ貧しく、（日本流の謙遜にあらず）、御名訳を深く味はふことのできないのが残念ですが。

一二、三日前、文学座の芝居で、飯沢匡さんの「ヤシと女」といふのを見、実に愉快なコメディーで笑ひどほしでした。アメリカ軍をからかつたところもあり、キーンさんも御覧になつたら大笑ひなさるでせう。樂屋へ行つたら、怖い女優さんに、「あなたの笑ひ声が耳について、不愉快で芝居ができやしない」と叱られましたが、まさかね。

七月の鉢の木会\*は小生の当番で、九日に、銀座でります。吉田さんから御連絡が行くと思ひますが、今度はキーンさんの歓迎会にしたいと、みんなが言つてをりますので、主賓がおいでにならなくては、形を成しません。何とかそのころ御上京なさいませんか？

三島由紀夫

六月廿五日

ドナルド・キーン様

\* 謡曲「鉢木」から名前をとつた作家たちの集りの会。

Mr. Donald Keene % Department of Japanese, Columbia University,  
New York 27, NY U.S.A. Yukio Mishima #2323, Midori-ga-oka,  
Meguro-ku, Tokyo, Japan (酒井・東京・山黒緑ヶ丘 31. 11. 19)

お手紙うれしく拜見しました。お元氣やういしゃゆいとは友人がいみせんでぬましたが、  
いやいかないわ、つゝ多忙にかまけてお便りできず、失礼いたしました。

「班女」がいよ／＼「ヨンカウンター」誌に載る由、御盡力のほど、御礼申上ります。

ストラウス氏からの手紙では「グローヴ・プレスから出したら、いだぬう」といつて来ました  
が、その「班女」を氏が読み、又、「卒塔婆小町」を讀んだら、あるひは氏も氣が變  
るかもしだせん。本になるときは、貴下が解説を書いて下されば幸せです。殊に、「卒  
塔婆小町」は、原作の、小町が卒塔婆に腰かけるのを、ベンチに腰かけるやうにしたと  
や、小町の九十九才の若いころを、現在から逆算して、たまたま鹿鳴館時代にしたとい  
などについては説明が要りませう。能といへば、今日、水道橋能楽堂で、宝生九郎の「道  
成寺」を見て來ました。見事な乱拍子で、木彫の像のやうでした。いのちながら、いのう  
十分ちかい物静かな乱拍子のうちに、刻々サスペンスが高まつてくる効果の力強さにはお

どうきます。

私は只今、十一月二十七日初日の「鹿鳴館」といふ新作の文学座による稽古と、新年号の小説とで、大多忙です。「鹿鳴館」ではラストで、一八八〇年代の日本の紳士淑女のワルツを見せますが、日本版 King and I みたいな、西洋の猿真似時代を、もし西洋人の観客が見たら吹き出す」とさせう。

「日本文学選集」下巻をお送り下さった由、ありがとうございます。私も、「日本の文芸復興」（サンス）の一人になれたわけですね。私はチエリー<sup>\*\*\*</sup>ニヤ<sup>\*\*\*</sup>セ<sup>\*\*\*</sup>で<sup>\*\*\*</sup>せうか。（なほ五千円は、来年四月ハリニュー・ヨークへ行く予定でをりますから、その節いただきたいと存じます）

「金閣寺」別便でお送り申し上げます。只今のハリニヤく賣れてをり、一週間で一万七千部ほど賣れました。

では何卒お元氣で。

母からもよろしく申してをります。

匆匆

三島由紀夫

十一月十九日

御名残の「千島」のことは、今も心からお詫び語り合つてゐます。あれは実に懐い  
晩でありました。

\* 「Encounter」：英國で一九五三年から刊行される文藝雑誌。ステイヴン・スペンダー（Stephen Spender）が編集長であった。

\* ハロルド・ストラウス（Harold Strauss）はアメリカの代表的な翻訳書の出版社 Knopf 社の編集長であった。ストラウスは、戦時日本語を学んだ。彼の現代日本文学への情熱が、アメリカで日本文学の翻訳書シリーズが出版されるのを可能にした。

\* \* \* “ベンヌート・セリーニ”（Benvenuto Cellini, 1500—71），彫刻家、彫金師（金細工人）。マニヒリズムの代表的なアーティスト。彼のロマンティックな私生活もまた、彼を有名にした。

\* \* \* \* “Il Sodoma”：最盛期ルネッサンスのマニヒリズム、イタリア人画家ジョバンニ・ントニオ・バルツィ（Giovanni Antonio Balzzi, 一四七一—五四九）のニックネーム。このあだ名は、バルツィの男色的な性癖が膚口に見えていることから来している。Sodom（ハダム）は、旧約聖書中で男色など住民の邪悪のために天上からの火で滅ぼされたとされる古代都市。

4 十二月十一日、封書、一枚

Mr. Donald Keene % Department of Japanese, Columbia University,  
New York 27, NY U.S.A. Yukio Mishima #2323, Midori-ga-oka,  
Meguro-ku, Tokyo, Japan (渋谷・MEGURO TOKYO, 11. XII. 56)

お手紙をありがたうございました。ストラウス氏よりお来信あり、「近代能楽集」を来年七月から、「金閣寺」をそのあとで出さることに決定した、お忙いで来ました。

「近代能楽集」がクノックがふ出るのは、全く貴下の美しい御翻訳のおかげで、心から感謝いたしております。

ストラウス氏はもとに、私の渡米も「近代能楽集」の出たあと、つまり来年の八月からに延期せよ、と語つて来られ、私ももうするつもりになりましたが、一つの心配は、また夏休みに貴下が日本へ来られるとすると、貴下と丁度入れちがひになりますせぬかといふことです。日本では恋人同士がどうしてもすれちがつて会へないと、いふ筋で、長々とづくめロドリマ映画のことを、「ずれちがひ悲劇」と呼んでゐますが、さうならぬやうに祈つてあります。

さて、御照會の「ヤダム」と「奥様」の件ですが、「華子」に苗字があれば、問題はありません。そこで英語版のために「華子」に「月岡」といふ苗字を与へ、「月岡華子」といたしたいと思ひます。

なほ、各篇の前に、原曲の簡単な筋をお書き下さるじよいと思ひます。さうすれば現代化の意図がよくわかりますから。又、Actors' Studio 等で上演の場合は、全くアメリカの現代にしもらつてよいこと。「卒塔婆小町」なら、公園はセントラル・パークでよく、幻想の鹿鳴館時代は、現代から丁度八十年前のニューヨークの富豪の家の舞踏会でよいと思ひます。又、「綾の鼓」の踊りの師匠藤間の役は、現代のバレエの先生でよいと思ひます。上演の際には、へんに日本化せぬはうがよいと思ひます。

ストラウス氏が貴下の御翻訳をお急がせしてあるやうですが、御多忙で大へんですね。僕はきのふ、自作の「鹿鳴館」といふ芝居の千秋楽で、ホッとしたところでした。文学座によるこの公演は、批評も興業成績も上乗で、僕はセリフのない大工の役で、毎日舞台に出てゐました。そして千秋楽のカーテン・コールのときに、本年度最低演技賞として大根二本をもらひ、お客は大喜びでした。

「近代能楽集」は、あれでおしまひのつもりでしたが、又書きたくなつて、「新潮」の新年号に「道成寺」を書きました。三、四年たつて又五篇ほどたまつたら、「續近代能楽集」を出すつもりです。

東京はだんだん寒くなり、クリスマスに近づいて行きます。このじろはボクシングのト

ハーニングをやつてゐるや、そのあひだはせをひよこかして、寒がれぬやうだ。  
やはよレクリスマスをお迎くになりませう。

三三鶴田紀夫

十一月十一日

ナルム・キーン様

5

十一月十一日(消印)、封書一枚

Mr. Donald Keene /Department of Japanese, Columbia  
University, New York 27, NY U.S.A. Yukio Mishima #2323,  
Midori-ga-oka, Meguro-ku, Tokyo, Japan (鷺島・MEGURU  
TOKYO, 31. XII. 56)

お手紙ありがたへり。わざと書か。キーへやむのムリでござ、日本語で書かねど、やせ細返  
事が出来ます。英語の手紙はいへも頭が痛いです。おもふて日本語やほいたゞ、「トナタ  
元氣カネ。私モ元氣ラシイネ。東京、今、風ツメタヤメ」ふくらめうな手紙しが書けませ  
んか。

Truman Capote<sup>\*</sup>氏が日本へ来ぬおゆ田、だのコソリョーベドやが、正確には、こゝ  
來ぬおゆのやねのや? 私は、Other Voices Other Rooms 以来、此のトナンですし、  
やあねだむ歓迎したく思ひまや。島田氏にも連絡をとりまししたゞ、「やる歓迎したい。氏

昭和31年（1956年）

の短篇小説を一つ、中央公論にのせたい、それから、氏のソヴィエト印象を雑誌にのせい。』と大ハリキリでした。島中氏からあなたへその件につき御連絡すると思ひます。

「近代能楽集」の出版の條件、それで結構です。なほ前拂金の僕の分は、「潮騒」の印税と一緒に、リュームークで受取れるやうにしたいと思ひます。「卒塔婆小町」を Actors' Studio やめる件、その後どうなりましたか？ この話は大へんたのしみです。夏にはそちらにおいでのお由、お目にかかるのが今からたのしみです。僕は夏が大好きですから、暑いのならいくら暑くても平氣、但し air-conditioning は好きません。

このところボクシングの練習に熱心で、この間はじめてスパーリングをやりました。スパーリングとはどんなスペリングか知りませんが、教へていただけませんか。殴り合ひ練習のことです。

東京のクリスマスは、大へんな人出で、レストランはどりも満員、三十分も待つて、やつと七面鳥の切れつけぱしにありつけました。朝までナイトクラブにゐて、くたびれました。

今日は大晦日で、おとなしく家にゐて、三月に文学座で上演のラシイヌの「ブリタニキュス」の台本を作つてゐます。フランス語は全然できませんから、人が直訳したのを、セ

リフに直す仕事です。あと五時間もたつと除夜の鐘が鳴り出します。ではいいお年をどうぞ！

\* トルーマン・カポーティ (Truman Capote, 一九二四一八四)、一九五七年の初めに日本で初めて三島に会った。同じ年の夏に、カポーティと三島はニューヨークで再会した。